

②4 明るい未来への一歩

報告 横浜国際プールへのアクセス改善、 地域から愛される 居場所づくりを！

横浜市会議員 市来えみこ

私は今月実施された令ポーツ教室や運動会の会場としても思い出多いに登壇し、地元である「居場所」です。しかし

「横浜国際プールの再整備」について、「地域の低差約20m、158段の声を反映した環境整備階段があり、高齢者や障害者向けのアクセス改善を！」と訴えました。

国際プールは、地元民は長年の地域課題でしにとつてプールやバスケット。私の手元には約20年の試合だけでなく、事前に市長へ提出された要

望書があり、令和5年の初登庁以来、改善を依頼し、令和6年2月の区づくり推進でも国際プールまでのアクセス改善について、区の考えを質問しました。

質疑では、都市整備局の「交通空白地」データから国際プールの北東、北山田7丁目、東山田1、2丁目の方々が苦しんでいる状況を訴え、アクセス改善策として新設予定の「斜行モノレール」の概要と今後のスケジュールについて質問しました。

「利用者による簡易なボタン操作のみで昇降できるタイプを導入予定。利用者が乗るキャビン部分

は空調を完備し、暑さ対策を行う。乗降場所には屋根を設置し、段差解消などバリアフリーに配慮する。安全対策としてホームドアのようなゲート整備も行う。具体的なスケジュールは本年12月に取りまとめる事業実施方針で示し、スピード感を持って推進する予定」

との答弁がありました。

私はアクセス環境の改善と同時に、安全で利用しやすい斜行モノレールの導入で、横浜国際プールが、誰もが利用できるインクルーシブスポーツの、そして市北部の新たな賑わいの拠点となるよう、早期の再整備完了を強く要望しました。



いちき 市来えみこ

プロフィール
【事務所】

横浜市泉区生まれ(57歳)
青山学院大卒業／カルフォルニア州立大学
大学院言語学部修了／米国パリーガル
家族：娘、両親、愛犬
☎070-9053-1968
✉ichiki.emiko.yokohama@gmail.com
都筑区中川中央1-22-5 #402